

学校教育目標：自ら進んで行動する児童を育成する 学ぶ子・思いやりのある子・身体をきたえる子

早春の候、保護者の皆様におかれましてはますますご健勝のこととお慶び申し上げます。さて、学校評価アンケートへのご協力、ありがとうございました。アンケート結果を基に、来年度に向けての改善策を練り、学校評議員の皆様にご意見をいただきました。以下に、アンケートの結果と今後に向けてのまとめをお知らせいたします。

1 自己評価（教職員アンケート）の結果から

- ・学校目標である「自ら進んで行動する児童の育成」について、肯定的な回答が多く見られました。学校全体として、学校教育目標を意識した教育活動を行うことができたかと捉えております。来年度も引き続き学校教育目標を意識し、学校一体となって学習のルールの徹底や一人一人の児童に寄り添った丁寧な指導・支援を行ってまいります。
- ・学校の組織体制において、肯定的な回答が多く見られました。教職員が良好な関係のもと、一体となって学校行事や児童の指導・支援にあたることができたかと捉えております。来年度も、保護者の皆様や地域と連携・協力し、教職員が一枚岩となった学校体制作りを進めることで、良質の教育効果を発揮できるよう努めてまいります。
- ・今年度も感染症の影響で学校行事が中止や縮小になったこともあり、保護者の皆様や地域に学校の様子を十分に伝えきれなかったという反省が挙がりました。来年度も感染症の影響が懸念されますが、そういった状況においてもホームページや学校・学年だより、連絡帳や電話連絡などを通じて積極的に学校から情報を発信し、保護者の皆様や地域と連携・協力を図ってまいります。
- ・学習面の指導において、基礎・基本の知識・技能の確実な習得を図ることが重要であるという意見が挙がりました。来年度も授業研究会や各ステージごとの職員研修、千教研での指導法研究などの様々な研究・研修を通して、教職員の授業力向上に努め、基礎・基本の知識・技能の確実な習得を図ってまいります。

2 学校関係者評価（保護者アンケート）の結果から

(1) 実施項目と結果（回収率 83.2%）

1-① 学校は、教育目標「自ら進んで行動する児童を育成する」を分かりやすく伝えている。	24%	69%	6%	1%
1-② 学校は、教育目標「自ら進んで行動する児童を育成する」の実現に努めている。	22%	72%	7%	0%
1-③ 学校は、教育課程（日課・行事等）が適切である。	30%	64%	5%	1%
1-④ 学校は、アンケート調査を実施するなど、いじめの早期発見に努めている。	23%	67%	9%	1%
1-⑤ 学校は、いじめ防止及び再発防止に対して積極的に取り組んでいる。	18%	69%	11%	2%
1-⑥ 学校は、児童の安全や事故防止に努めている。	29%	64%	5%	1%
1-⑦ 学校は、校舎内外の環境整備を行っている。	29%	63%	6%	2%
1-⑧ 学校は、「大空」（通知表）を児童の学習や生活の様子がよくわかるように作成している。	21%	57%	17%	5%
1-⑨ 学校は、感染症対策や、感染症に伴う教育課程変更等の連絡や説明を適切に行っている。	42%	52%	5%	1%
1-⑩ 学校は、暑い時期の服装や持ち物について配慮している。	40%	52%	7%	2%
2-① 子供は、安心して学校生活を過ごしている。	50%	47%	3%	0%
2-② 子供は、仲の良い友達がいる。	62%	35%	3%	1%
2-③ 子供は、学習内容を理解している。	26%	61%	12%	2%
2-④ 子供は、運動会などの学校行事を楽しみにしている。	67%	29%	3%	0%
2-⑤ 学校は、児童が理解しやすいように、授業を工夫している。	34%	59%	6%	1%
2-⑥ 学校は、子供や保護者の悩みや困ったことを相談しやすい。	24%	61%	14%	2%
2-⑦ 学校は、スクールカウンセラーに相談しやすい体制を整えている。	23%	66%	10%	1%
2-⑧ 学校は、子供を理解しようと努力している。	27%	65%	7%	1%
2-⑨ 学校は、子供の人権を尊重している。	31%	64%	4%	1%
3-① 学校は、家庭への連絡や意思疎通を適切に行っている。	32%	60%	7%	1%
3-② 学校は、保護者や地域の方と話をする機会を設けている。	19%	63%	16%	2%
3-③ 学校は、学校だよりや学年だより、ホームページなどを通して、適切に情報を伝えている。	37%	59%	4%	0%
3-④ 学校は、保護者・地域と連携してのPTA活動や見守り活動が盛んである。	26%	65%	8%	1%

0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%

左から □ そう思う（十分できている） □ どちらかといえばそう思う（だいたいできている） □ どちらかといえばそう思わない（あまりできていない） □ そう思わない（不十分である）

(2) 考察

「そう思う」「どちらかといえばそう思う」を肯定的回答としたとき、ほぼ全ての項目において肯定的回答の割合が80%を超え、概ね高評価と捉えております。昨年度に引き続き、今年度も感染症の影響で教育課程に変更があり、評価が難しかったというご意見が挙がりました。肯定的回答の割合が80%を切っている項目と多くのご意見を頂いた下記の項目については、検討課題と捉え、下記の通り来年度に改善を図っていきます。

○「1-④⑤ いじめ防止への取り組み」について

いじめ防止への取り組みについて、引き続き学校全体で真摯に取り組んでほしいとのご意見をいただきました。来年度も、定期的にいじめアンケートを行うとともに、いじめに関する学校体制と対応を教職員全体で確認し、「法典小 いじめ防止基本方針」「重大事態の対応」をホームページを通して保護者の皆様と地域に周知していきます。また、アンケート実施時期以外にも児童と担任との個人面談を継続的に実施することで、より一層児童の思いや困り感に寄り添い、いじめの未然防止・早期発見・早期対応に努めていきます。

○「1-⑧ 大空（通知表）」について

大空（通知表）について、昨年度より前期分の担任からのコメントをなくしたことで、前期の学習面・生活面の成果と課題がわかりにくいというご意見をいただきました。後期分に関してはコメントを入れるとともに、前期分に関しては、来年度から大空を渡す10月に担任との個人面談（希望制）を設定し、児童の学習面・生活面の成果と課題を保護者の皆様に丁寧に伝えていきます。

○「2-③ 学習内容の理解」について

学習内容の理解について、基礎・基本の知識・技能のより一層の理解を望むというご意見をいただきました。来年度も、「法典小 学習の10のきまり」をふまえて学習規律を正し、集中して学ぶことのできる学習環境を整えていきます。また、「確かな学力の向上」をねらいにして学校全体で授業研究に継続的に取り組み、教職員の授業力向上に努め、個々の児童の実態に応じた指導の充実を図っていきます。

○「2-⑥、3-② 児童・保護者の皆様と学校との関わり」について

児童・保護者の皆様と学校との関わりについて、担任・学校と関わることのできる機会の増加を求めるとご意見をいただきました。来年度もその時の感染状況に応じた対応が求められますが、可能な限り学校行事を実施し、保護者の皆様にご参観いただきたいと考えています。授業参観や学級懇談会、個人面談や大空ふれあいタイムなども適宜設定し、家庭と学校が関わることのできる機会を多く確保していきます。また、上記「いじめ防止への取り組み」でも述べた通り、児童と担任との個人面談を継続的に実施することで、児童の思いや困り感に寄り添っていきます。

○「2-⑦ スクールカウンセラーとの相談体制」について

スクールカウンセラーとの相談体制について、勤務日や相談希望の仕方がわかりにくいというご意見をいただきました。来年度は、年度初めにスクールカウンセラーの年間予定を保護者の皆様に伝えるとともに、学校だよりによりスクールカウンセラーの勤務日と相談希望の仕方を毎月明記することで、スクールカウンセラーと相談しやすい体制を整えていきます。

3 学校評議員の皆様からのご意見（1・2をふまえて）

- ・アンケート結果において肯定的な意見が多く、コロナ禍における学校教育活動の工夫が一定の理解を得ている。
- ・「そう思う」と答えた割合が50%を超えた項目は3つである。来年度はより多くの項目で「そう思う」の割合が増えるよう、今年度の成果と課題を生かして行ってほしい。
- ・83%の保護者にご回答いただけたが、残り17%の保護者の意見も聞きたい。
- ・下校時の児童の見守りを行っているが、挨拶できる子供が少なくなってきたと感じる。学校と家庭の両方で挨拶の励行を促していくことが大切である。
- ・コロナウイルス対策を引き続きしっかりと行い、児童の安全面・健康面に配慮しながら教育活動を進めて行ってほしい。
- ・来年度は150周年という節目の年を迎える。今後も学校・家庭・地域がしっかりと連携・協力し、子供たちを温かく育ててほしい。
- ・年間通して学校教育目標を意識した教育活動ができたことはすばらしいことである。
- ・コロナ禍により様々な学校行事が縮小傾向にあるので、学校と家庭とのコミュニケーションをより多くとれるよう工夫して行ってほしい。その意味において、前期の「大空」を渡す際の希望個人面談の導入はよい取り組みである。